

発電設備に係る点検結果を踏まえた再発防止対策の実施状況について

前回報告（９／２８）以降の主な取組み状況について

【原子力部門の活動】

1. QMS文書の再構築（AP1）

- ・再発防止対策に係る各種仕組み（不適合管理等）の変更内容を盛り込んだ業務文書（QMS文書）案を策定し、試行検証を実施。（８／２８～１０／９）

結果は方向性の変更を伴う大きなコメントはなくQMS文書として使用可能であることを確認。

今後、本QMS文書の修正・教育を行っていくと共に、保安規定の変更を行った上で当該文書に基づく業務を実施していく予定。

2. 安全文化醸成施策の実施（AP5）

- ・安全文化醸成e-ラーニングを実施中。（９／末～１１月完了目途）
- ・日本原子力技術協会による安全文化アセスメントを受審。（１０／１７～１０／１９）
評価結果を待って、必要な施策を講じる予定。

【全社施策の活動】

1. コンプライアンス強調月間行事の実施

- ・毎年１１月をコンプライアンス強調月間として設定
行動規範カードの配布、コンプライアンス研修などを実施予定。

以上